

3. 企画展示事業（平成29年度の展覧会）

企画展「田上てぬぐいー暮らしと文化ー」の結果について

- 【会 期】平成29年7月22日（土）～8月27日（日）
- 【会 場】大津市歴史博物館 企画展示室A
- 【主 催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館
- 【協 力】田上郷土史料館・龍谷大学里山学研究センター
- 【入場料】常設展示観覧料で入場
- 【入館者数】2,490人
- 【出陳件数】132件
- 【期間中の関連講座】

7月22日（土）田上てぬぐいと田上の衣生活	須藤 護（龍谷大学名誉教授）	102名
8月5日（土）上田上の生活文化を語るー田上郷土史料館のあゆみー	東郷正文（田上郷土史料館長）	98名
※会期中3回（8/3・10・17）ギャラリートークを開催		各30名

【展覧会の成果】

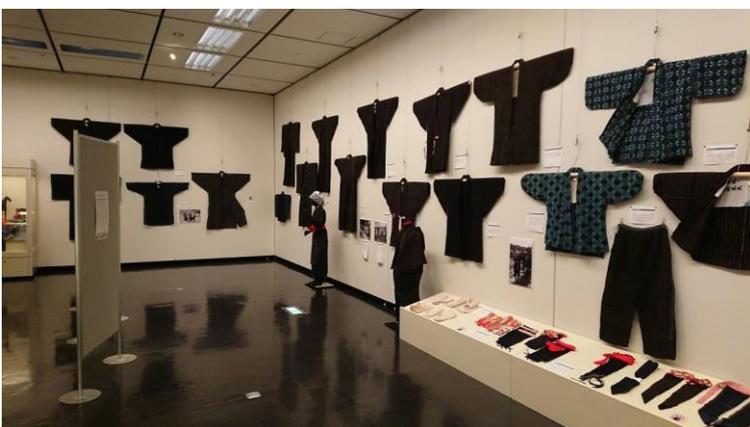
- ・当館ではじめての、地域の民俗資料を中心とした展覧会であった。
- ・田上郷土史料館が、長年の活動で蓄積してこられた有形・無形の民俗文化財の調査・収集活動やそれらを踏まえた研究成果を広く紹介することができた。
- ・また龍谷大学里山学研究センターを母体とする須藤護先生の研究グループが、同史料館の衣生活資料の調査を長年継続されている。本展では、須藤グループと連携し、その調査成果を踏まえた展示を構成することができた。
- ・人々の衣生活は、近代に入り和装から洋装へ変化し、日常的に使われていたかつての衣生活資料は顧みられることなく急激に消滅している。田上郷土史料館では開館当初からこうした衣生活資料も精力的に収集されてきた。今回の展示では、上田上地域のかつての衣生活を田上てぬぐいに代表させながら、三巾前掛けや手織りの仕事着などの貴重な収集資料で構成し、あわせて田上郷土史料館の調査カードや調査写真から同地域の生活文化の特徴を紹介することができた。
- ・上田上地域の人々にも多く来館いただき、地域で育まれていた生活文化の一端を再確認していただけた。

反省点

- ・田上郷土史料館の調査成果を踏まえたうえで、独自の調査を実施し、より深く上田上地域の生活文化の文脈に沿った展示が可能だったはずだが、ほとんど手を付けることができなかった。
- ・上田上地域以外の衣生活に関する資料の広がりについても触れることができなかった。その前提となるべき市内の民俗資料の調査研究が不足しており、今後の課題といえる。

今後に向けて

- ・田上郷土史料館の膨大な収集資料を整理する作業は、須藤先生のグループによって進められており、今後もその全体像をまとめる作業に協力してゆく。その成果を踏まえ、将来に向けた保存活用のサポートを地域とともに進めてゆくことが必要と考えている。



展示風景



ギャラリートークの様子

《企画展アンケート内容》【抄】

◆内容◆	お住まい・年齢
小さい頃、上田上枚町の祖母がはた織りをしていたのを思い出し、平野町に在住の母は今も田畑仕事で「前垂れ」を愛用していて、懐かしく思います	大津市 40代
田上からまいりました。自分の暮らしている地域の奥深さにかんどうしました。布目がもっとあらいたと思っていましたが、意外とやわらかかったです。	大津市 30代
手づくり観のある展示がよい。資料を大切にし、そこから田上に生きた人たちの「いぶき」を見い出そうとする息づかいが感じられる。感心しました。	大阪府 70代
ついこの間（昭和終わりくらい）までこんな情景があったのですね。田上出身の方から聞いていたことを目で確かめられてよかったです。貴重な民俗資料だと思いました。	大津市 70代
上田上の昔の暮らしがなつかしく思いました。この様な暮らし方も大事にうけついでいってほしい。良い展示をして頂きありがとうございますございました。	大津市 70代
資料が豊富でこれだけの物が残っていたことに感心しました。手ぬぐいだけでなく衣類も多く出されていることなどもっと宣伝されてもよかったですのかなと思いました。	大津市 70代
私は田上芝原の出身で、子供の頃田植などを手伝いました。田上でぬぐいや、三巾前だれ大変懐かしく思い出されました。小学校の校歌も懐かしかったです。	大津市 80代
子どもの頃当り前にあった日常・行事がなくなりつつある今資料として残し伝えていくことの大切さを思いました。あたたかい展示を見せていただきました。	大津市 50代
手作りの資料は郷土の皆様の意気込みが伝わる貴重なものでした。写真をはじめ、地域の歴史がこうして残され伝えられていくことはとても大切と思います。	神奈川県 60代
地域のくらしだけでなく博物館による調査の成果が合わせて展示されていて、おもしろかった。	千葉県 30代
出身地（京都市西京区大原野）と習俗が似ています。	大津市 50代
初めて大津市歴史博物館に来て企画展を知り見学しました。昔のものでもデザインがよく現代でも何か活かせないかと思いました。（このまま無くなってしまうのはもったいないです）	近江八幡市 40代
学芸員の方に解説いただいたこともあり、大変分かりやすかったです。大津市内の他の郷土資料館の所蔵品を用いた展覧会も楽しみにしています。	大津市 40代
何かと便利な世になり、あまり考える事なく1つの動作で電気がついたり、水が出てくるが、昔の生活には工夫があり、その為にも、知恵をしぼっておられたのだなと思う。	大津市 60代
かつては手ぬぐいが労働や日常生活におおいに活用されていたことがわかった。田上地区で使われていた手ぬぐいのデザインの美しさ、かぶり方の工夫、使用のT.P.Oが興味深く思われた。前掛けやもんぺ、上着、お宮参りの着物などの展示も良かった。今後もユニークな企画に期待している。	大阪府 60代
てぬぐいだけでなく、少し昔のくらしが興味深かったです。知らないことも多くてとても楽しかったです。年配の方は手ぬぐいを結ばないでかぶれるのがすごいと思いました。布を大事に大事に使っていたことも、今との違いを考えさせられました。	埼玉県 40代
手ぬぐいの展示のみかと思いき、早めに切り上げるつもりだったが、入ってみると、歴史、民俗の展示を多く見ごたえがあった。手ぬぐいの見本もそうだが、生活道具の見本の数が豊富で勉強になった。ほぼ自給自足の生活がなされていたというのが、非常に新鮮だった。	東京都 40代
上田上地区に居住し、農業にも従事していたので、当時を思い出し、大変興味深く、なつかしい思いをしました。ここまで資料を集め大学の学生さん達の協力にも関係者の方々に感謝いたします。	大津市 70代
早くから生活に根づいた品、習慣、行事等を調査し大切に収集してこられ、現在も調査されていたことでこうして見せて頂けることに感謝しています。子どもの頃を思い出し懐かしく思います。	兵庫県 60代
自分が生活している地域の歴史と、そこから生まれた生活文化を知る貴重な機会でした。昔の人達の生活とそこから生まれた知恵、そして手仕事の数々に感動しましたし、里山の風景、手作りの衣服や道具の数々はとても美しいと感じました。このような暮らし方やその知恵を何らかの形で残し、ひきついでいく事はとても価値ある事だだと思います。このような機会を頂き、ありがとうございました。	大津市 40代
千葉県から滋賀に来て、4年目です。この様な展示を頂けると身近な地域の昔からの成り立ちを知ることが出来、大変親しみが沸きます。また、今迄、何も気にしないで使ってた手ぬぐいですが、様々な歴史があるんですね。勉強になりました。	大津市 50代